

あした元気になるあれ

平成22年
11月15日

42号

防災訓練

看護部主催で



去る10月5日（火）、防災訓練が行われました。

今回の訓練は看護部の災害看護委員会が主体となり、休日、夜間帯における大規模災害発生時、各部署の看護師が避難誘導、被災状況の把握、安否確認等に迅速かつ適切に対応することを目的として実施しました。

18時頃、長野市北部を震源とする震度6の地震が発生したと想定し、各部署ごと、リーダーの指示によりそれぞれ役割に従って行動しました。

また、事前に設定した様々な容態の患者さまに対し、どのように救護できるのかを検証するため、職員による模擬患者を実際にベッド等に配し、車椅子やストレッチャーへの移動や避難場所への搬送を実践しました。

訓練に参加した職員からは、「夜間帯の訓練ができて良かった」、「患者さまの気持ちを感じた」、「定期的な実施の必要性を感じた」などの感想があり、改めて訓練の大切さを知ると共に、今後の防災対策に向けて大変有意義な訓練となりました。

火災、地震、風水害など、災害の種類は様々で、これらはいっ起きてもおかしくないものです。万が一の「その時」に備え、日頃の準備を怠ることなく防災意識の向上に努め、これからもみなさまにご安心いただける医療を提供してまいります。

INDEX 2010.11.15 No.42

- P1 ・看護部防災訓練
- P2 ・地域医療支援病院の承認を受けました！
・地域医療連携室を紹介します
- P3 ・みなさまの声 ・病院からのお願い
- P4 ・知っておきたい医療の知識(救急科 坂口先生)
・救急の日 AED講習会
- P5 ・入院患者さま「満足度調査」結果報告
- P6 ・登録医紹介 ・管理栄養士お勧めメニュー
- P7 ・合同慰霊祭を執り行いました
・当院ホームページがBHI賞「特別賞」を受賞
・電子カルテ導入について
・医師・看護師等募集案内
- P8 ・外来診療担当一覧 ・医師人事異動



長野市民病院の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

臨床研修病院

病院機能評価認定病院

地域医療支援病院の承認を受けました！

当院は本年9月21日、長野県知事より地域医療支援病院の名称使用の承認を受けました。

県内では7番目の承認であり、北信地区では2病院目の地域医療支援病院となります。

地域医療支援病院とは

地域医療支援病院とは、「医療は患者の身近な地域で提供されることが望ましい」という観点から、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を地域における第一線の医療機関として位置づけ、その地域の医療機関などを後方支援するという形のなかで医療機関の機能分担と連携を目的とした制度です。

この制度により当院は、かかりつけ医を支援し、かかりつけ医からの紹介患者に対する医療提供、病院の医療機器等の共同利用等、地域医療の充実を図る協力をいたします。

今後は、地域の登録医の先生方との連携をさらに深め、役割に応じた医療の提供を心がけて参ります。



地域医療の機能分担と連携

- (1) 緊急の場合を除き、まずは地域のかかりつけ医（診療所など）を受診していただきます。
- (2) かかりつけ医で専門的治療が必要と診断された場合、紹介状（診療情報提供書）をFAX「0120・115・295（直通・フリーダイヤル）」していただき、市民病院に受診の予約をします。
- (3) かかりつけ医の先生から紹介状を受け取ります。
- (4) 予約日時に紹介状を持って市民病院を受診していただきます。
- (5) 受診結果をかかりつけ医に報告します。市民病院での必要な検査・治療が終了したら、引き続き、かかりつけ医の先生に診療をお願いします。

地域医療連携室を紹介します

入退院センター

病院においていただくすべての方々の不安が少なく安心して病院を利用していただけるように、そして、病院の入院病床を効率的に使えるようにという目的で、入退院センターを平成22年1月に開設いたしました。看護師2名、事務職員2名、コンシェルジュ2名で総合案内業務と入退院センター業務を行っております。

総合案内は、玄関から入って真正面に看護師とコンシェルジュが立っています。適切な受診のための案内や、かかりつけ医の紹介、介助の必要な患者さまのご案内などをしております。

入退院センターは、看護師が入院が決定した患者さまに対して、入院前検査の説明と治療計画表に沿った入院中の治療や生活面の内容等についての説明を行い、患者さまがなるべく不安を感じないよう努めております。また、事務職員とコンシェルジュ



が入院に必要な事務手続きについて説明をして、入院当日は院内の施設説明と入院病棟までのご案内をしております。当センターでは患者さまや医療機関からのさまざまな問い合わせや相談にはできる限り迅速に対応できるように職員一丸となって取り組んでおります。

医療福祉相談・退院支援

病気を患い外来通院したり、入院治療をするといろいろな不安や困ったことが起こります。ほとんどが急なことで、思い



もかけないことが多いので、病院では医療福祉に関することや、退院後のことについて相談支援をするために、医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師を設置しております。

ご本人であれば、病気や治療についてわからない、医療費のことがわからない、退院するのに今の家では不便で帰れない、障害が残ってしまった

た。家族であれば、高齢であり介護方法を知りたい、家には介護する人がいない、認知症で困る。などなど様々な不安があります。

こんなときは、外来通院であれば、各科外来窓口、または総合案内にお問い合わせください。内容に応じて、医療ソーシャルワーカーまたは看護師がお伺いして対応いたします。入院された方であれば、入院中に医師や病棟の看護師にご相談いただくと、医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師が伺い対応いたします。特に退院に向けては、医療機関、介護施設の方々、ケアマネージャー、訪問看護師等と協力し相談の上、支援させていただきます。

ご自宅に退院の場合は、さまざまな在宅支援サービスの利用についてご紹介させていただきますし、退院や施設に移る場合は、適切なところを探すお手伝いをさせていただきますので、どうかお任せください。

紹介・予約

事務員4名で地域の医療機関等からのご紹介・ご相談等に対応しております。

当院は、平成20年9月1日より初めて受診される場合には他医療機関から紹介状・精密検査依頼書をいただいてからの予約をお願いしております。医療機関から紹介状・精密検査依頼書をいただ

査依頼書をいただいて予約を取られる際には、地域医療連携室直通番号【026-295-1611】へご連絡ください。出来るだけ患者さまのご都合に合わせた予約日時をご案内させていただきます。なお、診療科や医師等の都合により、ご希望にお応えできない場合もございますのでご了承ください。なお、小児科、形成外科、皮膚科、耳鼻いんこう科、脳神経外科及び婦人科（不妊症）については例外としております。

当院以外の医療機関からかかれてある方のうち、現在の診断や治療方法等について、当院医師による第2の意見（セカンドオピニオン）をご希望の方の予約窓口も担当しております。ご希望される方は、まず現在かかられている主治医へ紹介状の作成、資料の貸し出しをご依頼ください。現在かかられている医療機関より紹介状をFAX送信でいただいてから数日中に患者さまのご自宅、携帯電話等に予約日時等についてご連絡を申し上げます。当院の予約方法などご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。



みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重なご意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

2

南のベランダを開放していただけないでしょうか。患者にとってよい環境の場所だと思います。

（入院患者 男性）

【回答】ベランダ（フロアラルガーデン）への出入りにつきましては、必ず職員が付き添い、扉の開閉・時

間中の安全を確保しながら行っております。場所柄、自由に開放はできませんが看護師に声をかけていただければ対応はできますのでよろしく願っています。

重湯、三分粥のメニューにポテト、うぐいす豆等が付きましたが、甘くて口に合いません。

（入院患者 男性）

【回答】ご意見ありがとうございます。流動食、三分粥食では使用できる食材、調理方法に多くの制約があります。味が偏らないように配慮して献立を作成しておりますが、栄養量の確保も必要のため、甘い料理が続いてしまうこともあります。食が進まない場合には、管理栄養士が食事の相談を個別にお伺いいたします。嗜好に合わず食事が進まない場合には、お気軽に管理栄養士へご相談ください。

～貴重品の自己管理をお願いします～

忘れ物や置き引き等の防止のため、外来や会計でお待ちの際は、カバンやポーチなどの貴重品類は、身の回りから離さないようにお願いいたします。また病棟では、病室に備え付けのセフティボックスをご利用いただき、確実な管理をお願いいたします。（身の回り品は、原則として自己管理をお願いしておりますので、盗難・紛失等の際は責任を負いかねますのでご了承ください）





AEDについて

AEDとは、自動体外式除細動器 (Automated External Defibrillator) の略です。これは、心室細動、心室粗動といった致死的不整脈による心肺停止患者に、除細動(電気ショック)を行い、再び心臓を動かすための器械で、誰でも簡単に扱える工夫がほどこされています。2004年から、一般市民も使えるように法改正がなされ、多くの場所で見かけるようになりました。

では、実際の使い方について解説します。使用の対象となる患者さんは、意識がなく、呼吸や脈がない人です。大人の患者にも、子供の患者にも使えます。まず、①AEDのフタを開けます。②電源をいれます。(自動で電源ONになるものもあります)③電極パッドという、コードの付いた湿布のような物2枚を、胸に貼り付けます。貼る場所はパッドに書いてあります。④

あとは、AEDが自動的に音声で指示を出してくれますから、その声に従って下さい。例えば、「患者に触れないでください。心臓のリズムを調べています。」とか「全員離れてください。点滅するボタンを押してください。」とか「ショックは不要です。胸骨圧迫(心臓マッサージ)を続けてください。」などと教えてくれます。

AEDは自動体外式除細動器となつ

◀このような看板が目印です



ていますが、心電図の解析を自動で行うという意味で、除細動を自動で行ってくれません。音声に従ってボタンを押す必要がありますから、ご注意ください。また、除細動が有効なのは、はじめに書いた致死的不整脈に対してのみです。全ての心肺停止患者さんに有効なわけではありません。しかし、有効か否かは、AEDのコンピューターが判定してくれますから、安心して、とにかく音声に従ってください。詳しく知りたい方や、実際に体験したい方は、最寄りの消防署に問い合わせ、講習会に参加してみるといいと思います。あなたの一瞬の勇気が、大事な人を救えるかもしれません。

救急の日
キュウ キュウ
(9月9日)

AED(自動体外式除細動器)
講習会

9月9日(木)救急の日に、当院のエントランスホールにおいてAED(自動体外式除細動器)の講習会を行いました。当日は多くの方に参加いただき、盛況な会となりました。

最近では、多くの公共施設、駅やデパートなどにもAEDが設置されるようになりましたので、みなさまもいざという時のためにぜひ、AEDの講習会にご参加ください。

※AED講習会は医師会、消防署、日本赤十字社等でも行っており、各所にお問合せください。





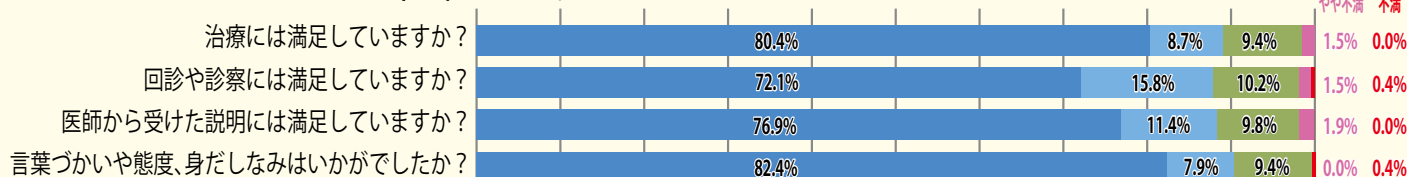
入院患者さま「満足度調査」結果報告書



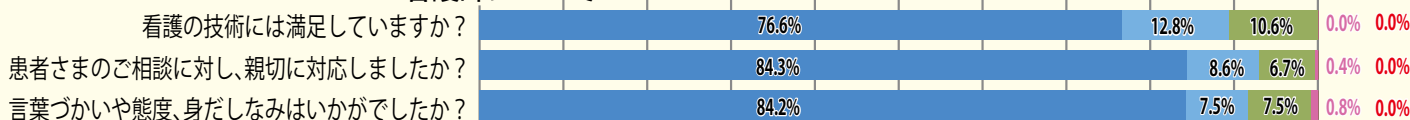
当院外来・病棟運営委員会では、平成22年9月1日(木)から9月30日(木)までの1ヶ月間に退院された患者さまを対象に、「満足度調査」を実施いたしました。ご回答いただきましたアンケートの数は**268枚**で、調査結果は次のとおりでした。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

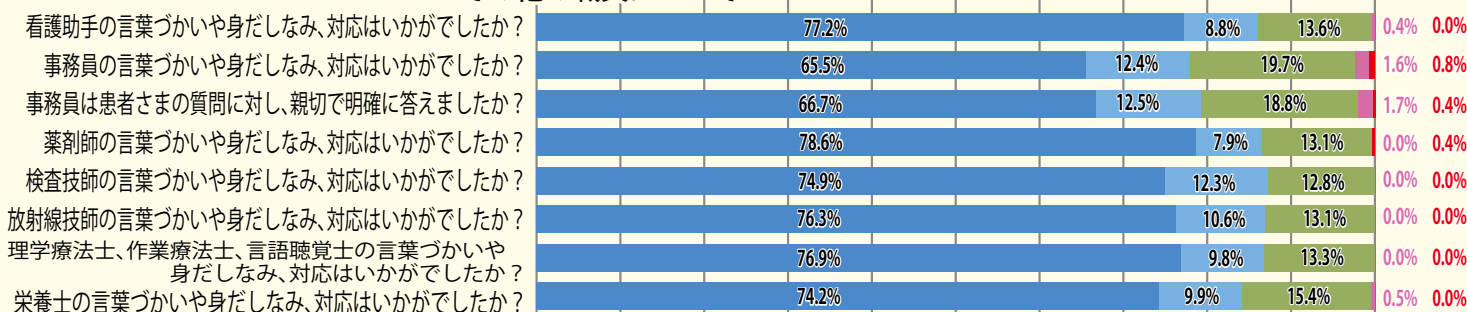
医師について



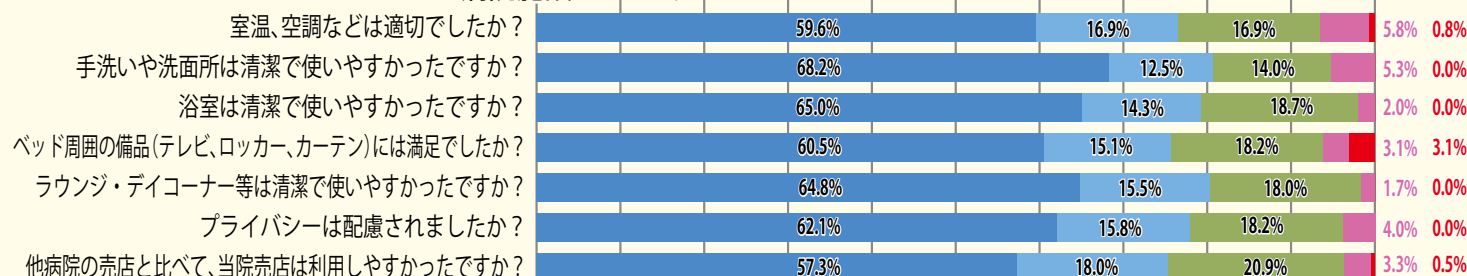
看護師について



その他の職員について



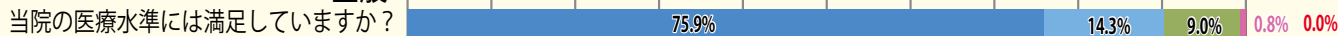
病院施設について



食事について



全般



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

【総 評】

満足度は概ね、高い評価(91.0/100点)を頂きました。回答された患者さまの多くは当院の医療水準や接遇に満足いただけた様子でした。一方、食事(やや不満、不満10.8%)、室温空調(同6.6%)に関しまして多くのご意見をいただきました。

【食事、室温空調に対する対応について】

食事につきましては、メニューの大幅な変更、嚥下食の改善等食事サービスの充実に努めております。また、病態に応じた適切な対応ができる体制を作り、満足度向上に取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご意見をお聞かせください。

室温空調につきましては、感じ方に個人差がございますが、こまめな空調調節を行うなど、できる限り適温を保つよう心掛けておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

当院は、今後も患者さまからのご意見をもとに、患者さまの満足度向上に一層努めてまいります。

ごみょう整形外科クリニック

院長 五明 広樹 医師
(須崎市井上1700-14)



院長の五明広樹先生は長野市松代のご出身でいらっしゃいます。信州大学をご卒業後、信州大学医学部附属病院、県立リハビリテーションセンター、県立須坂病院等、数々の病院でお勤めになりました。

またその間、国立がんセンターにおいて研究者として3年間、最新のがんの研究もなされております。

その後、平成17年の2月に開業なされました。

先輩に指導された「診断は科学、治療は技術、適応は哲学と科学的根

登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。

なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

お休みの日には野球で汗を流したり、囲碁(二段の腕前です!)を楽しむ文武両道の趣味人でもあります。



拠」を座右の銘に、それらを裏付けるための最新の医療機器(MRI・CTスキャン・骨密度測定装置等)を設置されております。

出身地の近くのこの地で「地元の方やきていただいた患者さまには、大きな病院にはない小回りのきく、それでいてそれに負けない診断治療を行いたい。診断治療に満足していただいたかを常に気にかけております。」とおっしゃっていました。



管理栄養士 お勧めメニュー



冷えを予防する
レシピ

鯛と穴子の
かぶら蒸し

最近急に寒さが増してきました。外気が下がる私たち動物は寒さに備える為に皮下脂肪を蓄えます。皮下脂肪は外気を遮断して、体温を一定に保つ重要な役割を果たすもので、そのためには良質の脂質やたんぱく質を摂ることが必要です。

また、冷えから体を守る為には、血行をよくすること・体を温める食材を積極的に摂ることが大切です。体の冷えは免疫力を低下させる要因の一つにもなります。体を温めて寒い冬を乗り切りましょう!!

<材料> (2人分)

- ・鯛(切り身) 100g
- ・あなご(蒲焼) 40g
- ・かぶ 2個
- ・ぎんなん(水煮) 6粒
- ・卵白 1個分
- A だし汁 1カップ
- みりん 大さじ1/2
- 醤油 大さじ1/2
- ・水溶き片栗粉 小さじ1
- 片栗粉 小さじ2
- 水 小さじ2

<作り方>

- ①鯛は一口大にカットし、塩を少々振る
- ②あなごは1cm幅にカットする
- ③かぶはよく洗い皮ごとすりおろし、水気を切る
- ④ボウルにかぶと卵白を入れよく混ぜる
- ⑤器にあなごを盛りぎんなんを散らし、④をかける。2つに盛り分ける
- ⑥蒸気の立った蒸し器に⑤を入れ、10分蒸す
- ⑦なべにAのたれを入れ水溶き片栗粉でとろみを付け、あんをつくる
- ⑧蒸しあがったかぶら蒸しに⑦をかける



合同慰霊祭を 執り行いました



去る10月31日(日)、ご遺族をお招きし、病院職員の出席のもとに、合同慰霊祭を執り行いました。

当院では医学の発展及び研究のため、ご遺族の承諾のもとに病理解剖を行っております。

開院いたしました平成7年より平成21年までの間、尊いご遺体をご献じいただきました御霊は59柱であります。

ご遺体を解剖に供していただきました、その崇高な御心に対し深甚なる敬意と感謝の念を捧げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



当院ホームページが BHI賞「特別賞」を受賞

当院は、第10回ヘルスケア情報誌コンクールホームページ部門に応募し、112点の作品の中から「特別賞」をいただきました。

今後も、より充実したホームページを皆さまにお届けできるよう励んでまいります。

※ヘルスケア情報誌コンクール(BHI賞)は、NPO法人日本HIS研究センターが『医療サービス利用のための情報の質と量を向上させるとともに、市民や利用者の理解促進に役立ててもらおう』と2000年から開催してきたNPO(非営利)活動です。



<http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

電子カルテ導入のお知らせ

当院では、さらなる医療サービスの向上と、より安全な医療の提供を目指し、電子カルテを導入することとなりました。

電子カルテとは、従来、紙に記載・保存していた「カルテ」(診療記録)を電子化し、コンピューターによって集中管理するものです。電子化することにより、いつでもどこでもすぐにカルテや画像がみられたり、蓄積されたデータを比較したりグラフ化することが容易になり、より綿密で分かりやすい医療を提供することが可能になります。

さらに、手書きによる転記ミスや

手書きカルテの誤読を防ぐとともに、バーコードを利用して確認することにより患者取り違えなどを防止し、安全性も向上します。

導入当初は、職員が不慣れな点や想定外のシステムトラブルによって、待ち時間が長くなることが予想されます。また、一部受診手順が変わるなど何かとご迷惑をおかけいたしますが、患者さまへの影響を最小限に抑えるよう、職員が一丸となって準備・対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



医師・看護師募集中

お問合せは
総務人事課 0120-511-990 (内線4400) または当院HPを
ご覧下さい。 <http://www.hospital.nagano.nagano.jp>

長野市民病院外来診療担当日一覧

救急科：救急センター 8:30から17:30担当医

記号の説明

○：初診担当

◎：完全予約制

☆：午後のみ

◆：紹介のみ

▲：紹介、救急のみ

※：第3金曜日のみ

★：第3木曜日のみ

外来診療担当表は、11月1日現在で作成されております。担当医師が変更となつて居る場合もご紹介しますので、お問合せください。

診療科	月	火	水	木	金	専門(常勤医)
内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 内分泌・代謝内科	○原 悦雄 ○吉池 文明 平井 一也 越知 泰英 立岩 伸之 酒井 / ☆多田井 ○西井 裕 -	須澤 兼一 吉池 文明 ○市山 崇史 梅村 武司 ○丸山 / ☆春日 ○多田井敏治 掛川 哲司 -	関 亜矢子 西井 裕 ○平井 一也 ○越知 泰英 丸山 隆久 ○笠井 俊夫 ○長谷部 修 -	☆稲田 浩之 吉池 文明 市山 崇史 ○立岩 伸之 ○春日 広一 ○関 亜矢子 ○掛川 哲司 ★宮林 千春	☆西井 裕 ○酒井 貴弘 ○信大医師 (呼吸器内科) 原 悦雄 ○須澤 兼一 笠井 俊夫 長谷部 修 -	平井一也(呼吸器) 吉池文明(呼吸器) 市山崇史(呼吸器) 長谷部修(消化器・内視鏡) 原 悦雄(消化器・内視鏡) 越知泰英(消化器・内視鏡) 立岩伸之(消化器・内視鏡) 須澤兼一(消化器・内視鏡) 関亜矢子(消化器・内視鏡) 多田井敏治(消化器) 丸山隆久(循環器) 笠井俊夫(循環器) 酒井貴弘(循環器) 掛川哲司(腎臓) 西井 裕(糖尿病・内分泌代謝疾患) 春日広一(糖尿病・内分泌代謝疾患)
小児科	浅岡 麻里 野田 慶太	池野 一秀 浅岡 麻里	野田 慶太 青沼架佐賜	池野 一秀 野田 慶太	浅岡 麻里 青沼架佐賜	青沼架佐賜(発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀(免疫・アレルギー) 野田慶太(小児科一般) 浅岡麻里(小児科一般)
外科 消化器外科	○成木 壮一 ○高田 学 沖田 浩一 -	○岡田 正夫 - ○林 賢 -	田上 創一 宗像 康博 ○沖田 浩一 ○松村 美穂	○村中 太 ◆宗像 康博 林 賢 -	○得丸 重夫 関 仁誌 ○田上 創一 -	宗像康博(消化器・胃・大腸) 林 賢(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 関 仁誌(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 高田 学(消化器) 沖田浩一(消化器) 成木壮一(外科) 田上創一(外科) 村中 太(外科) 岡田正夫(外科) 得丸重夫(外科)
整形外科	松田 智 南澤 育雄 ☆山田 誠司 ○藤澤多佳子 ○中村 功	- ○下平 浩揮 ○信大医師 ▲松田 智 ▲南澤 育雄	山本 宏幸 中村 功 山田 誠司 ○南澤 育雄 ○藤澤多佳子	藍葉宗一郎 下平 浩揮 ☆中村 功 ○藤澤多佳子 ○松田 智	○藍葉宗一郎 ○山田 誠司 - ▲中村 功 -	松田 智(上肢・末梢神経) 南澤育雄(骨折・リウマチ性疾患・股関節) 中村 功(脊椎) 山田誠司(関節疾患) 藍葉宗一郎(整形外科) 下平浩揮(整形外科) 山本宏幸(整形外科)
形成外科	○滝 建志 濱 ゆき	滝 建志 ○濱 ゆき	○滝 建志 濱 ゆき	滝 建志 ○濱 ゆき	○滝 建志 濱 ゆき	滝 建志(形成外科) 濱 ゆき(形成外科)
脳神経外科 (脳血管内治療科)	○大屋 房一 荻原 利浩	○荻原 利浩 木内 貴史	○大屋 房一 竹前 紀樹	○荻原 利浩 大屋 房一	○竹前 / 脳外科医師 (交替制につき、担当 当日についてはお 問い合わせ下さい。)	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害・頭痛・三叉神経痛) 大屋房一(脳血管障害・脳血管内手術・脳腫瘍) 荻原利浩(脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 木内貴史(脳神経外科)
皮膚科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實(皮膚科)
泌尿器科	西澤 秀治 山岸 貴裕 -	山岸 貴裕 塚田 学 -	西澤 秀治 飯島 和芳 -	山岸 貴裕 塚田 学 ◆西澤 秀治	飯島 和芳 塚田 学 ※岡根谷利一	西澤秀治(悪性腫瘍・排尿障害・小児泌尿器) 飯島和芳(神経因性膀胱・悪性腫瘍) 山岸貴裕(泌尿器科一般) 塚田 学(泌尿器科一般)
眼科	風間 淳 -	風間 淳 千葉 玲奈	風間 淳 黒川 徹	風間 淳 -	風間 淳 -	風間 淳(眼科)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休診	野村 康	野村 康	野村 康(耳鼻いんこう科)
放射線治療科	メタストロン外来	橋田 巖	休診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅(画像診断・I V R) 藤田 巖(画像診断・I V R) 橋田 巖(放射線治療)
歯科・歯科口腔外科	○戸木田 怜子 田村 稔	○田村 稔 戸木田 怜子	○戸木田 怜子 田村 稔	○鎌田 孝広 -	○田村 稔 戸木田 怜子	田村 稔(口腔腫瘍) 戸木田怜子(口腔外科)
神経内科	○小平 農 ☆山本 寛二	山本 寛二 ○小平 農	小平 農 -	○山本 寛二 -	山本 寛二 小平 農	山本寛二(神経内科) 小平 農(神経内科)
呼吸器外科 乳腺外科	○境澤 隆夫 小沢 恵介	○有村 隆明 西村 秀紀	○西村 秀紀 境澤 隆夫	○有村 隆明 西村 秀紀	○小沢 恵介 交替制	西村秀紀(呼吸器・乳腺・甲状腺) 小沢恵介(呼吸器・乳腺) 有村隆明(呼吸器・乳腺) 境澤隆夫(呼吸器・乳腺)
婦人科	○西澤千津恵 -	休診	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤(悪性腫瘍) 西澤千津恵(不妊症)
緩和ケア内科	-	◎大道 雅英	◎☆大道 雅英	◎大道 雅英	-	大道雅英(緩和ケア)
膠原病外来	休診	休診	池田 三知代	休診	休診	池田三知代
救急科	坂口 治	坂口 治	林 賢	坂口 治	坂口 治	坂口 治(救急科) 長野市民病院救急センター

お近くの開業医による「かかりつけ医」を持ちましよう。市民病院へ初診で来院される場合、紹介状と事前予約があると待ち時間短縮につながります。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
長野市民病院・医師会 急病センター
TEL 026-295-1291
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：たけまとしき 竹前紀樹
■編集：長野市民病院広報委員会



医師人事異動

***新任**
10月1日付
川上 勝弘(麻酔科科長・手術センター科長)

***退職**
9月30日付
田中 稔幸(麻酔科医長・手術センター医長)

10月31日付
浅沼 恵(脳神経外科医師)

11月1日付
木内 貴史(脳神経外科医師)